

公開講座

教材開発

受託研修

コンサル
テーション

出 版

研究会

共に生きる社会の
創造をめざして

2016-2017 プログラムカタログ PROGRAM GUIDE

私たちのミッション

ラボラトリー方式の体験学習を通して

- ◎ かかわり合いの中でお互いが成長できる社会
- ◎ 違いを認め、違いを活かし合う社会
- ◎ 自分たちの力で変えていけると実感できる社会

を創造します



一般社団法人 日本体験学習研究所

ごあいさつ

2015年4月1日に、一般社団法人日本体験学習研究所を設立し、「共に生きる社会の創造をめざして」をモットーに、ラボラトリー方式の体験学習を中心とした活動を始めました。特に、学校教育現場には学習者中心の教育実践を、企業組織には一人ひとりを大切にしたい組織活動の活性化を、看護医療の現場には医療従事者の自立と最高のケアサポートをめざした医療活動を、人間関係トレーニングの視点からプログラムの開発と実践を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習の源流であるTグループ（Human Interaction Laboratory In Group Development）をコア・プログラムとして位置づけ、2015年度はその発展講座を多数開催してきました。2016年度も社会で活躍されるみなさまの人間関係力・コミュニケーション力、リーダーシップ力、ファシリテーション力、マネジメント力、内省力などへの向上をめざして、多数の講座を計画しています。

特に、米国NTLにおいてすべてのセミナーの参加要件になっているTグループも、伝統的な哲学と学習方法を踏襲するために、5泊6日の源流を大切にしたいラボラトリー・トレーニングを目指しています。Tグループは、コア・プログラムであり、私たちが提供するどのセミナーへの参加にも大切な体験と学びの基礎になると考えています。私たちが主催しますTグループでは、対話を通して、お互いに認め合い学び合う関係づくりをめざしたグループ体験になることを願っています。Tグループ体験を通して、プロセスに気づく力や働きかける力を養い、自己成長、グループ成長に取り組み学ぶ場を参加者とともに創り出したいと考えています。

Tグループの体験と学びは、コンサルタント、ファシリテーター、リーダー、マネージャー、医療従事者、教育者などヒューマンスキルを必要とする専門職の皆さんの対人感受性、かかわりの柔軟性など、スキルと態度を育てるために役に立つと考えています。その他、さまざまなスキルアップ・プログラムも準備しています。多くの方にご参加いただければ、幸いです。

また、皆様からのご要望を受け、コンサルティング、ならびに受託研修なども幅広く行っています。

2016年1月1日
一般社団法人日本体験学習研究所
代表理事・所長 津村 俊充

JIELとは、一般社団法人 日本体験学習研究所 (Japan Institute For Experiential Learning) の頭文字をとったもので、ジャイエールとよびます。

CONTENTS

ごあいさつ・目次-----2

公開講座の概要-----3

コアプログラム（Tグループ）講座-----4
Tグループ（人間関係トレーニング）

非構成的グループのファシリテーター養成講座-----5
Tグループ・ファシリテーター・トレーニング

構成的グループのファシリテーター養成講座①-----6
プログラム・デザイナー・トレーニング

構成的グループのファシリテーター養成講座②-----7
実習実施ファシリテーター・トレーニング

構成的グループのファシリテーター養成講座③-----8
実習づくりファシリテーター・トレーニング

ラボラトリー体験学習基礎講座-----9
プロセスから学ぶグループと私

ラボラトリー体験学習応用実践講座①-----10
アサーション・トレーニング

ラボラトリー体験学習応用実践講座②-----11
チームビルディング

ラボラトリー体験学習応用実践講座③-----12
プロセスにこだわる

ラボラトリー体験学習応用実践講座④-----13
グループプロセス・ファシリテーター・トレーニング

ラボラトリー体験学習応用実践講座⑤-----14
グループプロセス・コンサルタント・トレーニング

実践人間関係づくりファシリテーション12講-----15~19

ラーニングカフェ FOR CHANGE -----20

体験学習実践研究会-----21

JIEL 春まつり：学びの祈願祭 -----22
－さまざまなファシリテーションに触れる－

JIEL 秋まつり：学びの収穫祭 -----23
－講座参加の仲間とともに一年をふりかえる－

研修を依頼する-----24

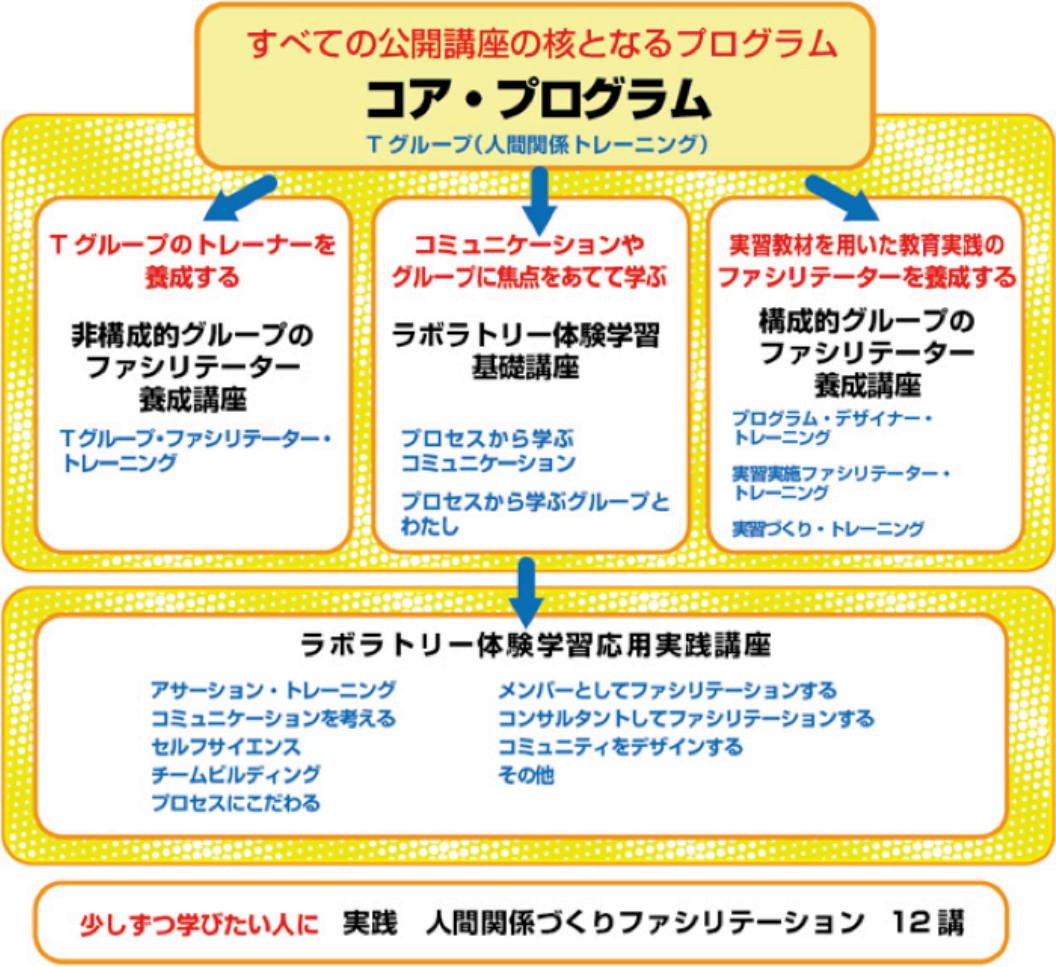
受講申込-----25

年間スケジュール-----26～27

公開講座の概要

日本体験学習研究所は、グループダイナミックスの創始者と言われるK.レヴィンとその研究仲間たちによって、1946年に発見・開発されたラボラトリー方式の体験学習を核として、人間関係のあり方を探求するためのトレーニングの開発と実践を行っています。それらを通して、対人関係、グループ、組織にかかわる諸問題について相互に学び合い、成長し合える社会づくりを目指しています。

公開講座は、図のように6つの領域で開講しています。



コア・プログラム（Tグループ）講座

Tグループ（Tとはトレーニングの略）とは、人間理解やリーダーシップなど相互にどのように影響し合っているかなどを探求し、参加者一人ひとりのありようやグループダイナミックスを理解して、リーダーシップを発揮することなどを学ぶプログラムです。ラボラトリー・トレーニングとか、ラボラトリー方式の体験学習とよばれるのは、1947年にスタート時にTグループが、「Human Interaction Laboratory」とよばれたことによります。

Tグループは、私どものJIEL公開講座のすべてのプログラムのコア・プログラムです。どのプログラムよりも先にご参加されることをおすすめします。米国NTL Instituteでも、Tグループは、自己理解のプログラムや組織開発のプログラムであり、また他者理解・異文化理解のワークショップでもあります。そうした真価があるからこそ、Tグループはコアプログラムとして、講座に参加するための参加資格となっています。

コア・プログラムであるTグループは、狭義にはTグループ・セッションをさします。広義には、参加者全員とスタッフを含めたラーニング・コミュニティで学ぶ宿泊研修すべてをTグループとよんでいます。広義の合宿形式のTグループ・プログラムでは、伝統的に以下の4つの要素を用いてプログラムデザインされます。

- ① Tグループ・セッション（対話による非構成のグループ体験）
- ② 実習教材を用いた構成グループ体験
- ③ モデルや理論の紹介による概念化を促進するミニレクチャー
- ④ チェックリストやふりかえり用紙を用いたツールの使用

グループには特に決められた課題や手続きはなく、参加者は自由に対話を続け、その場に生まれてくる人間関係（プロセス）を学習の素材にして体験的に学んでいきます。その過程で、自己理解、他者理解、受容、共感、影響関係、コミュニケーションやグループプロセスなど、人間関係のさまざまなことに気づいていくことができます。

第3回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日 程	2016年6月4日（土）～9日（木）5泊6日 4日14:00受付、14:30開会 9日13:00解散
	Tグループ・フォローアップ 2016年9月11日（日）10:00～16:00 ヒューマンコラボレーションセンターHCC
担当者	津村 俊充・林 芳孝・岡田 衣津子 他
定 員	18名
会 場	（財）KEEP協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里3545 TEL 0551-48-2099
参加費	受講料：84,000円（税込）
滞在費	67,890円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 84,090円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

第4回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日 程	2016年11月19日（土）～24日（木）5泊6日 19日14:00受付、14:30開会 24日13:00解散
	Tグループ・フォローアップ 2017年3月12日（日）10:00～16:00 ヒューマンコラボレーションセンターHCC
担当者	津村 俊充・杉山 郁子 他
定 員	18名
会 場	帝人アカデミー富士 〒410-1105 静岡県裾野市下和田656 TEL 055-997-0111
参加費	受講料：84,000円（税込）
滞在費	63,240円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 70,800円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

非構成的グループのファシリテーター養成講座

第2回 Tグループ・ファシリテーター・トレーニング

Tグループ（5泊6日）に参加経験のある方を対象とした、Tグループ・ファシリテーター（トレーナー）を体験しながらTグループのファシリテーションのありようを学ぶトレーニングです。

わたしたちはグループや組織の中で生きています。それは家族であったり、会社や学校といった職場であったり、プライベートな仲間同士、地域の人たちとのつながりであったりします。“わたし”とは違うさまざまな人たちが集まって、その組織が成り立っています。違いがあるのはわかっているけど、その違いが生み出すことで悩んだり、苦しんだり、人を責めたりします。その違いを認め、活かし合い、互いの尊厳を大切に、信頼関係を築きあげることができたら、わたしたち一人ひとり、そしてわたしたちが生きるこの社会はより幸せなものになるのではないのでしょうか。

このトレーニングでは、組織の一単位であるグループの中で、参加者が、Tグループ・ファシリテーター（トレーナー）役、オブザーバー役、メンバー役を交代しながら、Tグループ体験をします。1セッション終了ごとに、ふりかえりセッションを行います。そこでは、グループのプロセスを分かち合いながら、トレーナーの言動を中心に、トレーナー自身の内省から、オブザーバーの観察のデータも活用しながら、またトレーナーの言動からのメンバーが受けた影響などを共有し、そのことからお互いに学びを深めていくプログラムです。

これらのグループ・セッションとふりかえりセッションを通して、トレーナーはもちろんのことグループの一人のメンバーとして、グループをどのように観たり、トレーナーが何を大切に働きかけたり、またその選択肢にはどのようなものがあるのかを探求します。そして、メンバー一人ひとりの成長やグループの成長に気づき働きかける視点と技能、さらにトレーナーとして大切な態度やありようを学びます。

ファシリテーションにかかわる概念的な理解を深めるための全体会プログラムも予定しています。

＝このようなことを目指している方にお薦めします＝

- ・個人やグループの成長に関心があり、なんらかの貢献をしたいと思っている人
- ・会社や学級・学校などの組織の文化や風土を変えたいと考えている人
- ・人とのかかわる上で観察すること、働きかけることを学びたい人 など

※Tグループをはじめ、Tグループ・ファシリテータートレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするために同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、お申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

第2回 Tグループ・ファシリテーター・トレーニング

日 程	2016年9月17日（土）～21日（水）4泊5日 17日（土）13:00開始 21日（水）16:00終了
担当者	津村 俊充・林 芳孝・杉山 郁子 他
定 員	16名
会 場	帝人アカデミー富士 〒410-1105 静岡県裾野市下和田656 TEL 055-997-0111
参加費	受講料：75,000円（税込）
滞在費	47,000円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 53,000円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※本講座は、5泊6日のTグループ（人間関係トレーニング）に参加されていることを参加の基礎資格とさせていただきます。
※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。



構成的グループのファシリテーター養成講座 ①

第2回 プログラム・デザイナー・トレーニング

本講座は、Tグループなど「ラボラトリー方式の体験学習」を通して学ばれた方が、実際に体験学習を用いたプログラムを設計する体験より「ラボラトリー方式の体験学習」についてさらに理解を深めるための講座です。

近年、企業内教育だけでなく、小学校、中学校、高等学校をはじめ、大学においてもグループワークを用いたアクションラーニングがひろく活用されています。また、キャリアコンサルタントの方には、グループワークを用いた自己理解や他者理解、またコミュニケーション能力の開発が求められています。看護医療の教育、特に看護学校では人間関係論、対人行動論、コミュニケーションやカウンセリングなどの科目において、医療現場ではチームづくりやリーダーシップ、ファシリテーション力の養成が求められています。

本講座では、教育（研修）プログラムを実施するに際して、一連のプログラム・デザインの仕方やそれぞれのプログラムのねらいと実施について、体験を通して学ぶことを目的としています。

講座の前半の2日ほどは、プログラムの作り方に関する小講義を交えながら、グループごとに一連の流れのプログラムを設計して、それらをプレゼンテーションし、参加者相互に意見交換をしながら、プログラム設計の留意点などを学びます。また、後半の3日間ほどは、その一連のプログラムの中から具体的にねらいに即した実習デザインを考え、参加者相互に実習を実施し、フィードバックセッションを通して学びます。

これらの体験を通して、学習者中心の教育観や学習観について理解を深め、ファシリテーターとしてのかかわり方やスキルを磨くことに取り組みます。この講座自体が体験学習の場になりますから、ファシリテーターとしてのトレーニングだけでなく、自分自身の人間的成長の機会にもなります。

講座のねらいとしては、次のようなものがあげられます。

- ・人間関係の体験学習や学習者参加型の教育に対する理解を深める
- ・体験学習のプログラムをデザインし、実施するスキルを養う
- ・体験学習を進めるファシリテーターのあり方を学ぶ
- ・現場での体験学習の活かし方を考える



第2回 プログラム・デザイナー・トレーニング

日 程	2016年7月15日（金）～19日（火） 4泊5日 15日 13:30 受付、14:00 開始 19日 16:00 解散
担当者	津村 俊充・間宮 基文
定 員	18名
会 場	ヤマハリゾートつま恋 静岡県掛川市満水 2000 番地 TEL 0537-24-1111
参加費	受講料：75,000 円（税込）
滞在費	56,000 円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 68,000 円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります

構成的グループのファシリテーター養成講座 ②

第2回 実習実施ファシリテーター・トレーニング

～既存の体験学習の教材を選んでファシリテーションを実施する～

現在、体験学習を実施するためのたくさんの実習が開発されています。実習は書籍でも出版されており、それを使って企業、学校、団体等さまざまな場で採り入れられ、実施されています。

「いろいろな実習があることは知っているが、どんな状況の時に、どのような 実習を選び、どのように実施したらいいか、よくわからない」

「実際にやっているが、実習実施についてフィードバックしあえる機会が少ない」

「どのようにねらいを立てたり、ふりかえり用紙をつくったりしたらいいか、わからない」

「体験学習を導入したいが、どのようにしたらいいのかわからない」

「同じような取り組みをしている人たちとわかちあいたい」

こうした声をたびたび聞きます。

この講座では、参加される一人ひとりが自身の抱えるニーズや実践の場を想定して、既存の実習教材を用いたプログラムづくりを行います。ねらいを立て、それに適すると考える実習を選び、ふりかえり用紙を作成し、実際にファシリテーションを行う体験学習の実習実施の一連の流れを体験していただきます。参加者相互にファシリテーター体験をしたり、参加者体験をしたりすることになります。その後、他の参加者からファシリテーターのありようをめぐってコメントや提案などを含めたフィードバックを行い、お互いに学びを深めていく、という構成になっています。

体験学習の実施経験者も、またこれから導入を検討されている方も、ともに学びを深め、ファシリテーション力を高めていきましょう。

※本講座の参加には、JIEL が開催する「ラボラトリー体験学習基礎講座：プロセスから学ぶグループと私」、「プログラム・デザイナー・トレーニング（2016年7月15日～19日）」に参加されることをおすすめします。



第2回 実習実施ファシリテーター・トレーニング

日 程	2016年10月8日（土）10:00～18:00、 9日（日）9:00～17:30、10日（月）9:00～17:00
担当者	林 芳孝・津村 俊充
定 員	18名
会 場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 32,400 円（税込）

構成的グループのファシリテーター養成講座 ③

第2回 実習づくりファシリテーター・トレーニング

～必要な実習を自分で作り出すことができるように、実習づくりについて学ぶ～

ファシリテーターとしてラボラトリー方式の体験学習を実施する際に、実習を使うことが多いのではないのでしょうか。実習といってもさまざまなものがあり、導入時に短い時間でできるアイスブレイク、情報紙などを用いて行う問題解決実習、グループで意思決定を行うコンセンサス実習などが代表的なものとして使われています。研修プログラムを作成する際には、ねらいやプログラムの流れ、状況などに合わせて、このような実習をうまく取り入れていきます。しかし、既存の実習だけでは、その時々にはぴったりのものが見つからず、困ったこともあるのではないのでしょうか。

この講座では、そのような時に自ら必要な実習を作り出すことができるように、実習づくりについて学んでいきます。実習を作成する際に、明確にすることや考えなければならないこと、実際の作成手順、留意点、必要な物品の把握と製作、時間配分、提示の仕方、アレンジなどを学んでいきます。

講座の進め方は、参加者がそれぞれのニーズに合わせて5～6人のグループに分かれ実習を作成し、お互いに実施し、フィードバックをしあっていきます。その過程で、以下のようなことを学びます。

- ・実習作成と実施について
 - ・ねらいに合わせた実習の選択
 - ・研修プログラムの流れ
 - ・ファシリテーターチームについて
 - ・実習作成と実施の留意点
 - ・実習のもつ力と安全性
 - ・自分自身のファシリテーターとしてのありよう
- など

参加者同士が実習への思いや経験などを率直に話し合い、実習づくりを通してファシリテーターチームを育てていきます。日常の自分のファシリテーションをふりかえり、次への課題を明確にするチャンスにもなるのではないかと考えています。

あなたの作った実習が、皆さんに使ってもらえる実習になるかもしれません。

体験学習の実施経験者も、またこれから導入を検討されている方も、ともに学びを深め、ファシリテーション力を高めていきましょう。

※本講座の参加には、JIELが開催する「ラボラトリー体験学習基礎講座：プロセスから学ぶグループと私」、「プログラム・デザイナー・トレーニング（2016年7月15日～19日）」、「実習実施ファシリテーター・トレーニング（2016年10月8日～10日）」に参加されることをおすすめします。



第2回 実習づくりファシリテーター・トレーニング

日程	2017年1月7日（土）10:00～18:00、 8日（日）9:00～17:00、9日（月）9:00～17:00
担当者	杉山 郁子・津村 俊充
定員	18名
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 32,400円（税込）

ラボラトリー体験学習基礎講座

第2回 プロセスから学ぶグループとわたし ～教育担当者のためのグループワーク基礎体験～

この講座は、「ラボラトリー方式の体験学習」を用いて、グループの中での人間関係を学ぶ基礎講座として位置づけています。さまざまなグループワークの実習を体験することと、体験学習実施時のファシリテーションのヒントを提供します。

私たちの日常生活の8割以上がグループで過ごしているとも言われます。その中で、私たちはいろいろな体験をしながら生活をしています。その日々の生活体験は、時としてつらく悲しい体験もあれば、楽しくうれしい体験もあります。さまざまな体験から、自分自身を成長させたり、またその環境を変化させたりすることができれば、日常の体験は違った意味をもつことでしょう。

この講座では、日常の体験から学ぶための視点として、「コンテンツとプロセス」、「体験から学ぶ循環過程」などについて体験を通して学びます。日常のグループ活動の中では、仕事や課題に取り組むことや話題や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、その活動の中で起こっているメンバーの気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられずに過ごしてしまっています。この講座では、個人の中で起こるプロセスやグループの中で起こるプロセスを観る視点を学びます。そして、そのプロセスから学ぶための学びのステップも紹介しながら、グループの中でのわたしやグループに気づいていくプログラムです。それらの体験を通して、グループやわたしをマネジメントする方法を学ぶことができればと考えています。

また、グループワークによる体験学習を提供しようとしている教育担当者（学校教育関係者、コンサルタント、キャリアコンサルタント、カウンセラーなど）には、本講座の学習者としての体験をおすすめします。

講座の学習目標としては、

- ラボラトリー方式の体験学習による学びの基礎的な考え方と具体的な進め方について体験を通して理解を深める
- グループ・ワークをおこなう過程で生まれるプロセス（メンバーの参加の仕方、コミュニケーションのありよう、意思決定、リーダーシップなど）に気づく
- グループ・ファシリテーターとして実践する際の自分のありよう（他者との関わり方、グループの中で自分の影響など）について、自ら気づくとともに、メンバー相互のフィードバックの授受を通して、学ぶ

＝このようなことを目指している方にお薦めします＝

- ・ラボラトリー方式の体験学習を基礎から学んでみたい人
 - ・日常生活での人とかかわり方を見直したい人
 - ・人との関係やチームワークを大切にしたい人
 - ・人の気持ちを大切にしたい支援をしたい人
 - ・グループワークを用いた教育実践をしたい人
- など

第2回 プロセスから学ぶグループとわたし

日程	2016年5月7日（土）10:00～18:00、 8日（日）10:00～17:00
担当者	津村 俊充・水野 節子
定員	18名
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 21,600円（税込）

第3回 プロセスから学ぶグループとわたし

日程	2016年7月30日（土）10:00～18:00 31日（日）10:00～17:00
担当者	津村 俊充 他
定員	18名
会場	東京近郊（現在交渉中）
参加費	受講料 27,000円（税込）

ラボラトリー体験学習応用実践講座 ①

第2回 アサーション・トレーニング ～私も、あなたも大切にするコミュニケーション～

世界にたった一人しかいない自分をあなたは大切にしていますか？
人間の気持ちや考えは、自分で表現しなければ、他者にはわかりません。たとえ、目の前にいる相手にも、です。

「アサーション」とは自己主張、自己表現という意味の言葉。「アサーション・トレーニング」では、おもに言語表現を通じて、自分の気持ちや考えを正直に、率直にその場に合った表現で伝えるためのトレーニングを行います。

そうした自己表現の権利は誰にでもあるものなので、いくら正直で率直であったとしても、他者の自己表現の権利を奪うような攻撃的な表現は、適切とはいえません。逆に自分の気持ちや考えを他者に伝えることなくやり過ごすのは、自分で自分の気持ちや考えをスルーしているのと同じこと。他者に言われるままに動く、受け身の暮らし方、働き方になってしまいます。

人間関係、社会生活を自他尊重のスタンスで生きるために必要な自己表現やコミュニケーションの方法を学び、実践することで、自分らしい行動、自分らしい生き方ができる可能性が広がります。そして共に活動する他者と、お互いの違いを認め合い、違いを活かし合うことが可能になってくるでしょう。

この講座では、アサーティブな表現の方法として NVC（非暴力コミュニケーション）の演習を取り入れ、日常で言葉の背景にある自分や他者のニーズを受けとれるようになることを目指します。コミュニケーションは人間関係そのものです。ありのままの自分を受け容れて、自分の力になるコミュニケーションの方法を共に学んでいきましょう。

◆気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと
（参加者アンケートより）

- ・理論と体験の両面で学習できた。
- ・（グループメンバーから）もらった意見により、客観的に考えることができた。
- ・自分が他人の問題と感じていたことが、実は自分の気持ちの中で問題と感じていただけだと気がつけた。
- ・関係の質を高めたいということは、多くの人間の願いであることを信じ切ることができた気がする。



第2回 アサーション・トレーニング

日 程	2016年7月16日（土）10:00～18:00、 17日（日）9:00～17:00、18日（月）9:00～17:00
担当者	水野 節子・鈴木 由子
定 員	18名
会 場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 32,400円（税込）

ラボラトリー体験学習応用実践講座 ②

第2回 チームビルディング ～私をいかす、相手をいかす、チームづくり～

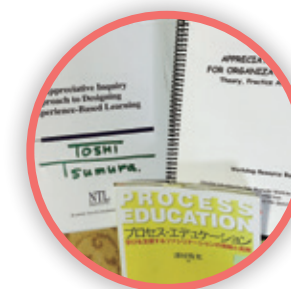
最近、一人ではなくさまざまな人とチームで取り組む機会が増え、チームの成果や活性化などへの期待も高まっています。全く異なった背景や価値観をもった人とのチームづくりで戸惑いを感じたり、チームで取り組むことで得られる可能性をもっと高めていきたいと日々考えているなど、チームづくりに関心をもっておられる方は多いのではないのでしょうか。

- ・日ごろチームで取り組むことが多く、チームづくりについて検討してみたい
- ・チームの一員としてどのようににはたらきかけることができるのかを探りたい
- ・もっと自由に意見が伝え合え、一人ひとりを大切にするようなチームづくりをしたい
- ・それぞれの持ち味をいかしたチームづくりをしたい

この講座では、参加者のみなさんがチームづくりについてもっている問題意識や期待・思いなどを共有しながら、実際にメンバーとしてチームづくりに取り組みます。チームをつくっていく過程で、自分の中で、相手の中で、チームの中で起こっていることに、丁寧に目を向けていきます。いくつかの実習に取り組みながら、お互いに気づいたことをフィードバックしあい、チームづくりの中で起こっていることへの視点を広げていくことで気づきを深めていきます。他者やチームに対してお互いを活かすはたらきかけをこころみ、はたらきかけの可能性について体験的に学んでいきます。チームづくりの過程で気づいたことを学びの素材とし、個人やチームの成長について理解を深めることができます。

自分や他者の特徴を生かしたかわりを通してチームの変化を体験し、チームづくりについての視点や理解を深め、日常生活にいかしていくヒントをともに探っていきましょう。

※本講座の参加には、JIEL が開催する「ラボラトリー体験学習基礎講座：プロセスから学ぶグループと私」、に参加されることをおすすめします。



第2回 チームビルディング

日 程	2016年12月17日（土）10:00～18:00、 18日（日）9:00～17:00
担当者	岸田 美穂・津村 俊充
定 員	18名
会 場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 21,600円（税込）

ラボラトリー体験学習応用実践講座 ③

第2回 プロセスにこだわる

～人間関係におけるプロセスに着眼すると見えてくるものは？～

この講座は、Tグループをはじめラボラトリー体験学習基礎講座などを受講され、「コンテンツとプロセス」について理解されている方を対象にしています。

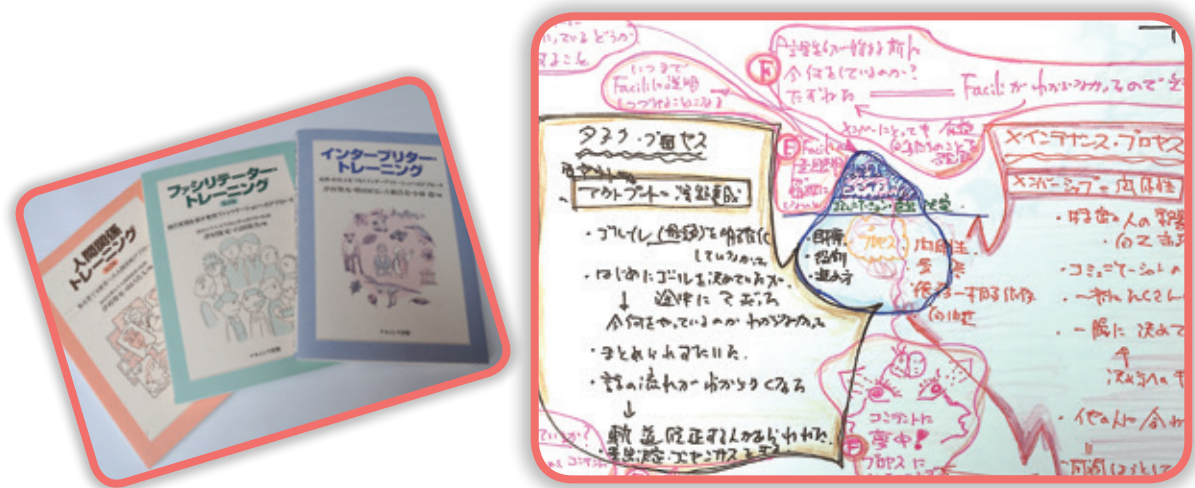
ラボラトリー・トレーニングのはじまりは、1946年の夏、米国コネティカット州でのワークショップでの出来事を通して、レビンらは、グループワークの学習にとって、まさに“今ここ”の場で起こっている生のグループ体験を学習素材に用いる学習の方が、グループダイナミックスや人間関係について一般化された概念的な講義よりも、学習者にとっては、はるかに意味のある学習となることを発見しました。この出来事とは、トレーナーと観察者のスタッフミーティングに、メンバーが参加し、そこで起こっていたことを、分析し解釈したことでした。それは、“プロセス”に焦点が当たった瞬間でした。

この講座のプログラムでは、全体をみる観察者をつけ、レビンらが行ったミーティングのように、実習終了後に、メンバー、観察者とファシリテーターで、丁寧にプロセスを観ていきます。また、実習中の記録をビデオで撮り、プロセスを観ていくことに役立てることを考えています。その後、このことからの学びを相互に共有し、日常や仕事にどう活かせるかについてグループで討議し、学びを深めます。

この講座の「ねらい」として、以下のようなことを考えています。

- ・実習で起きていたプロセスを丁寧に観る
- ・プロセスからの学びを日常にどう活かしていくかについて考える

プロセスについて、“ちょっと”こだわり、その可能性について、その場にいる方々と、ワイワイガヤガヤと探求したいと思っています。



第2回 プロセスにこだわる

日程	2016年8月27日(土) 10:00～18:00 28日(日) 9:00～17:00
担当者	間宮 基文・津村 俊充
定員	12名
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 21,600円(税込)

ラボラトリー体験学習応用実践講座 ④

第2回 グループプロセス・ファシリテーター・トレーニング

～グループメンバーとしてチームをファシリテーションする～

今日の社会の中にあって、IT技術の進歩やグローバル化に伴い組織の変化、またさまざまな雇用形態からのダイバーシティ(多様性)をもった組織の運営の難しさを感じている方が多いのではないのでしょうか？

従来の階層構造的な組織運営の中にあっては、指揮命令を明確にすること—それに従うメンバーを育てることで、業務の効率化を目指していました。しかし、今は機能していた構造が壊れ、それぞれのアイデアを生かしコミュニケーションを豊かにして、クリエイティビティ(創造性)を高める創発グループのマネジメントが求められています。

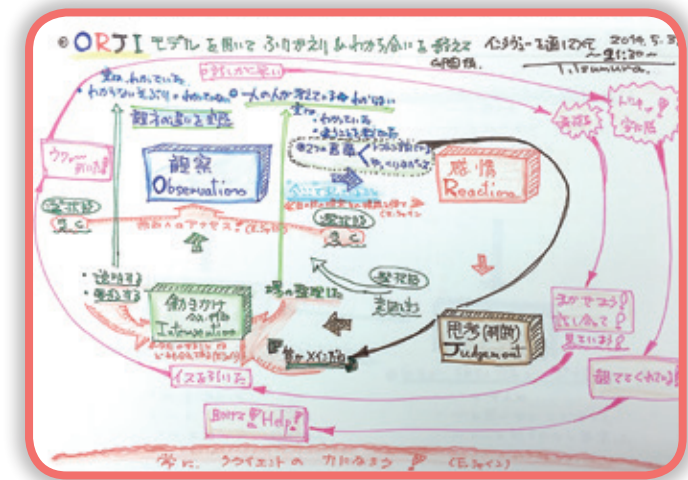
この講座では、グループのプロセスに光をあてながら、そのグループプロセスに働きかけるファシリテーター型リーダーの基礎的な考え方から実践スキルを学ぶことを目指しています。

この講座のねらいとして、以下のようなことを考えています。

- ・ファシリテーションとは何かを考える
- ・グループ活動を活性化するためのファシリテーションを体験する
- ・グループを観る目を磨く
- ・グループの中での自分や他者の態度、行動の仕方や考え方の特徴などに気づく。
- ・観察のスキル、フィードバックのスキルを磨く

そのために、この講座では、5～6人のグループを作り、ファシリテーター役とオブザーバー役をそれぞれおき、さまざまなグループ活動を行います。ひとり1回はファシリテーター体験をし、その体験をふりかえりながら、上記のねらいに向けて学びを深めます。

※ファシリテーターには、グループのメンバーとしてのファシリテーターと、外部の専門家としてのファシリテーターがありますが、この講座では、グループのメンバーとしてのファシリテーターのありように焦点をあて、学びます。外部のファシリテーターの働きをするトレーニングに関しては、JIELでは「グループプロセス・コンサルタント・トレーニング」として別日程(2017年3月17日～20日合宿形式)で開催しています(次頁、p.14参照)。



第2回 グループプロセス・ファシリテーター・トレーニング

日程	2017年2月11日(土)10:00～18:00 12日(日) 9:00～17:00 2月18日(土)10:00～18:00 19日(日) 9:00～17:00 ※すべての日程に参加されるようにお願いします。
担当者	津村 俊充・杉山 郁子
定員	12名
会場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 43,200円(税込)

ラボラトリー体験学習応用実践講座 ⑤

第2回 グループプロセス・コンサルタント・トレーニング
～外部コンサルタントとしてチームをファシリテーションする～

今日の社会の中にあって、IT 技術の進歩やグローバル化に伴い組織の変化、またさまざまな雇用形態からのダイバーシティ（多様性）をもった組織の運営の難しさを感じている方が多いのではないのでしょうか？

従来の階層構造的な組織運営の中にあっては、指揮命令を明確にすることそれに従うメンバーを育てることで、業務の効率化を目指していました。しかし、今は機能していた構造が壊れ、それぞれのアイデアを生かしコミュニケーションを豊かにして、クリエイティビティ（創造性）を高める創発グループのマネジメントが求められています。いわゆる自律型組織です。そうした活動を支援する専門家として、グループプロセス・コンサルタントの働きが重要になります。

さまざまな領域でプロジェクトチームを作り、そのチーム活動を活性化する働きかけができるグループプロセス・コンサルタントに光があたりつつあります。

この講座では、チーム活動のメンバーとは異なるメンバー（外部者）として、チームに関わり、とりわけグループのプロセスに働きかけるファシリテーションを学ぶことを目指しています。

ねらいとしては、下記のようなことを考えています。

- ・チーム中での人間関係（グループプロセス）を観る視点をもつとともに、実際に気づくことができる感受性を高める。
- ・チームや他のメンバーに与えている自分の影響に気づく。
- ・チームやメンバーの成長に向けて働きかける視点やスキルを養う。

※本講座の参加に関して、JIEL 主催のTグループやラボラトリー体験学習基礎講座を修了されていることが望ましいと考えています。その他、他機関でのグループ体験がありましたら、その旨ご連絡をいただき、ご参加ください。



第2回 グループプロセス・コンサルタント・トレーニング

日程	2017年3月17日（金）～20日（月）3泊4日 7日（金）13:00 開始 20日（月）17:00 終了 ※夜もプログラムが予定されています。全日程のご参加をお願いします。
担当者	津村 俊充・林 芳孝
定員	12名
会場	南山学園研修センター 名古屋市昭和区広路町隼人 30（地下鉄いりなか駅から徒歩6分） TEL 052-837-6466（予定）
参加費	講座参加費：43,200円（税込）
滞在費	35,000円予定（宿泊費、食費、会場費を含む）

実践 人間関係づくりファシリテーション 12講

入門講座として「実践 人間関係づくりファシリテーション（金子書房）」をテキストに、各章の内容を紹介しながら、ラボラトリー方式の体験学習を楽しみながら、学んでいただく講座です。

体験学習が初めての方から体験学習を実施しているファシリテーターの方までご参加いただけます。



実践 人間関係づくりファシリテーション

監修 津村俊充 星野欣生 編 金子書房
B5判並製 192頁
定価 本体2,300円＋税
発行 2013年12月27日
ISBN 978-4-7608-2647-6 ●C3011

人間関係づくりトレーニングの実践において核となる10のテーマをとりあげ、学習者とともにかかわるファシリテーターの実践を紹介。座学として学ぶだけではなく、体験を通してともに学べるように、楽しいエクササイズを紹介しながら、学校や職場、地域やコミュニティの世界まで広がりをもつ可能性を紹介。

<目次>	1章	ファシリテーションの人間観 ファシリテーションは人をどうみているか	7章	決める 私が決めることは生きる責任をもつこと
	2章	場をつくる 気持ちのわちあいが安心の場をつくる	8章	働きかける プロセスに働きかける
	3章	ひらく 語ること・聴くことからかわりはひらく	9章	ふりかえる 体験をふりかえることで学びになる
	4章	観る 今ここのプロセスをありのままにみる	10章	共に成長する かわりを通して成長する
	5章	気づく 気づきより新しい私に出会う	11章	つながる 対話がつながりを創り出す
	6章	受け容れる 受け容れることからかわりが変わる	12章	教育プログラムをつくる プログラムデザイナーとしてのファシリテーター

紹介する章	春期開講	秋期開講
第2章&第3章	5月14日（土）	10月1日（土）
第4章&第5章	5月28日（土）	10月15日（土）
第6章&第7章	6月11日（土）	10月29日（土）
第8章&第9章	6月25日（土）	11月12日（土）
第10章&第11章	7月9日（土）	11月26日（土）
第1章&第12章	7月23日（土）	12月10日（土）



※各回参加シールをお渡ししています。参加者の皆様にはシールコレクションを楽しんでいただいています。全コース終了後、実践人間関係づくりファシリテーション12講の修了証をお渡しします。

会場	いずれの回も ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
定員	いずれの回も12名
参加費	各章 3,240円（税込） 午前・午後通しでご参加の場合には、6,480円（税込）となります。

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第2章「場をつくる」

「場をつくる」とは何をすることでしょうか？
この講座では、こうした参加者各自や場に生まれる「懸念」を軽減し、誰もが「今ここ」の自分や他者を受け容れて活動できる「場づくり」について、実際にその場の体験を通じて学んでいきます。さまざまな「懸念」を減らし、一人ひとりが自由に発言・行動できる雰囲気「場をつくる」過程において、どのような働きかけが必要で、どんな配慮が関係づくりの助けになるのかを共に学び合っていきましょう。それが結果的に「場をつくる」ときに必要なファシリテーターの視点や働きかけを明らかにしていくことにつながります。
楽しみながら「場をつくる」ことに、皆様とともにチャレンジしていきたいと考えています。

日 程	春期：2016 年 5 月 14 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2016 年 10 月 1 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 3 章「ひらく」開催）
担当者	春期：岸田 美穂・津村 俊充 秋期：水野 節子・津村 俊充	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第3章「ひらく」

自分のことを語ること、それも自分が少し苦労しながら乗り越えてきた「自分の中で輝けるもの（ポジティブコア）」を探究するインタビューを受けながら語ること、さらにはその「ポジティブコア」を探究するための声かけや聴くことから人間関係づくりは生まれることを体感してみることを目指しています。
AI（アプリシエイティブ・インクワイアリー）アプローチと言われる考え方を紹介します。AI アプローチの学びの入り口としても、参加者の方々に関心をもっていただければ幸いです。
具体的には、インタビューシートをもって、お互いに丁寧なインタビューをしながら、かわりが深まる体験、心をひらくかわりの体験が実現されることを願っています。

日 程	春期：2016 年 5 月 14 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2016 年 10 月 1 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 2 章「場をつくる」開催）
担当者	春期：津村 俊充・岸田 美穂 秋期：津村 俊充・水野 節子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第4章「観る」

人間関係づくりファシリテーターが扱う大事なことのひとつに「コンテンツとプロセス」があります。ファシリテーターは、何をしているか、何を話し合っているかといった内容(What)とともに、それがどのように行われているか、一人ひとりがどのようにそこにいるか(How)といった“今、ここ”で“起こっていること”を観る力を養い、磨くことが大切となります。この講座では、参加者がグループをつくり、ワークをする人とオブザーブする人に分かれ、オブザーバー役はそこで“起こっている”ことを丁寧に観るトレーニングをします。観る視点やスキルを高める力を養うことができます。

日 程	春期：2016 年 5 月 28 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2016 年 10 月 15 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 5 章「気づく」開催）
担当者	春期：林 芳孝・岡田 衣津子 秋期：林 芳孝・杉山 郁子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第5章「気づく」

わたしたちは日常自分の枠組を用いて、自分や他者、世界を見ています。この講座では、自分自身のものの見方やとらえ方への気づきを深めるために、「ジョハリの窓」のモデルを活用した実習「私の心の窓」に取り組みます。体験を通して気づいたことをオープンに他者に伝える「自己開示」と、他者が気づいたことを率直に伝えてもらう「フィードバック」をすることで、関係の中にある新しい自分自身に気づき、さらに他者との豊かな関係へとつながっていく体験を、みなさんと一緒に深めていきたいと思っています。

日 程	春期：2016 年 5 月 28 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2016 年 10 月 15 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 4 章「観る」開催）
担当者	春期：岡田 衣津子・林 芳孝 秋期：杉山 郁子・林 芳孝	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第6章「受け容れる」

この講座では、「受け容れる」ことから次の行動やかかわりが生まれ、次の展開や新たな現実も生まれてくることを体験学習の実習を通じて体験します。そうした体験から、参加者各自、あるいはグループの「受容」に対する傾向に気づき、実際に「受け容れる」ことからどのような影響関係が生まれ、課題達成に向けていかに働きかけることができたかをふりかえります。
そこから、「人間関係づくり」に不可欠な「受容」を促進するために、ファシリテーターにはどんな働きかけが必要かを学び合い、参加者の皆様に自分としてはどのようなことを大切にしていきたいかを見つけていただける場にしていきたいと考えています。

日 程	春期：2016 年 6 月 11 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2016 年 10 月 29 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 7 章「決める」開催）
担当者	春期・秋期：水野節子・杉山郁子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第7章「決める」

「意思決定」はプロセスを捉える視点として「個々のメンバーの様子」「コミュニケーション」と同様に主要なものとされています。人生における重要な場面だけでなく、日常茶飯事行われている「意思決定」を少し意識することで、意思決定とは何か、意思決定が及ぼす影響、ファシリテーションにおける意志決定の意味などに気づき、学んでいきます。
この講座では、実際に本の中で紹介されている実習を体験していただき、意思決定をどのように学ぶことができるかを知っていただくと共に、体験を通して自分自身が意思決定をどのようにしているのか、そのことがさまざまなことにどのように影響しているのかについて学んでいきたいと考えています。

日 程	春期：2016 年 6 月 11 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2016 年 10 月 29 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 6 章「受け容れる」開催）
担当者	春期・秋期：杉山 郁子・水野 節子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第 8 章「働きかける」

日常では仕事の成果を問われ、そこにいる人の「気持ち」など関係性を忘れがちです。しかし、「プロセス」が重視されない組織では、成果を出してもメンバーの満足度が低くなってしまいます。組織活動においては、成果を出しながら同時に関係性も満たすために、「プロセス」に働きかけるファシリテーションが重要になってきます。

この講座では、「グループプロセス」という視点をとりいれて課題を達成しながら、どのように「プロセス」に働きかければよいかをともに学び、考えていくことができる場にしていきたいと思っています。

日 程	春期：2016 年 6 月 25 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2016 年 11 月 12 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 9 章「ふりかえる」開催）
担当者	春期・秋期：鈴木 由子・間宮 基文	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第 9 章 「ふりかえる」

この講座のテーマは、体験学習での「ふりかえり」です。「ふりかえり」とは、体験学習の循環過程の中で、大きく捉えると「指摘」、「分析」、「仮説化」が該当しますが、それについて 2 回の実習を通して丁寧に取り組んでいきます。1 回目の実施後ふりかえりとフィードバックを行い、その気づきを基にして、2 回目の実習に取り組み、更なる気づきが生まれる過程を体験することを試みます。

ここで学んだ気づきやふりかえりのステップを、日常生活の中で活かすことに繋げられる可能性について、探っていく場にしていきたいと考えています。

日 程	春期：2016 年 6 月 25 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2016 年 11 月 12 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 8 章「働きかける」開催）
担当者	春期・秋期：間宮 基文・鈴木 由子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第 10 章「共に成長する」

この講座は 2 つの実習に取り組む構成となっており、まず 1 つ目で自分や他者の発言や行動に目を向けて、気づいたことをフィードバックカードに記入しお互いに交換します。次に 1 つ目の体験をふまえて新しいかわりを試みます。体験学習では、他者とともに今ここで起こっていることを丁寧にみていくことで、お互いの気づきが生まれます。そのためには、自分の感じていることを本音で言い合える安全・安心の風土が重要となります。実際に実習に取り組みながら、お互いの成長にどのように取り組んでいけるかをみなさんと一緒に考えていくことができればと思っています。

日 程	春期：2016 年 7 月 9 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2016 年 11 月 26 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 11 章「つながる」開催）
担当者	春期・秋期：岸田 美穂・岡田 衣津子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第 11 章「つながる」

この講座では、さまざまな立場で、考え方や価値観をもつ人々との話し合いを通し、架空のまちの公園づくりを試みます。自分の意見をどのように主張し、目の前にいる他者の意見をどのように受け入れるか？一人ひとりの違いを排除するのではなく豊かさとして受け入れ、それぞれの思いを生かしあうことができるか、真の民主主義とはどういうものか、エクササイズを通してともに学び、考えたいと思います。

日 程	春期：2016 年 7 月 9 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2016 年 11 月 26 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 10 章「共に成長する」開催）
担当者	春期・秋期：岡田 衣津子・岸田 美穂	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第 1 章 「ファシリテーションの人間観」

この講座では、実際に、グループを作り、ファシリテーター役とオブザーバー役を決めて、実習体験をしてもらいます。ファシリテーター役の方は、自分の考えるファシリテーターの働きを自分が所属するグループのメンバーとともに活動しながら試みてもらいます。グループ活動終了後、ふりかえり用紙をもとにグループ体験、ファシリテーター体験をふりかえり、ファシリテーターの働きかけを中心に分かち合いをします。その分かち合いの時には、オブザーバー役から観察したメモデータをもとに報告をしてもらいます。これらの分かち合いを通して、ファシリテーターの働きの留意点やその働きに根ざしている人間観をともに探求します。

日 程	春期：2016 年 7 月 23 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2016 年 12 月 10 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 12 章「教育プログラムをつくる」開催）
担当者	春期・秋期：津村 俊充・林 芳孝	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講
第 12 章「教育プログラムをつくる」

この講座では、参加者のみなさんがこれまで体験学習に参加したり、また実際にファシリテーターとして体験学習を実施したりした体験をもとに、プログラムづくりを検討することを予定しています。

具体的には、グループになって、「体験学習のプログラムをデザイン（設計）する際に大切なことは何か？」個人でメモした後に、話し合ってもらい模造紙にまとめてもらいます。そして、各グループが発表をして、それらの共通の要素は何か、またどのようなことを大切にプログラムをデザインすればよいのかを、参加者とともに考えたいと思います。

日 程	春期：2016 年 7 月 23 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2016 年 12 月 10 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 1 章「ファシリテーションの人間観」開催）
担当者	春期・秋期：津村 俊充・林 芳孝	

ラーニングカフェ FOR CHANGE

ラーニングカフェ FOR CHANGE とは

K.レヴィンの研究仲間で、R.リピット氏は、自宅を地域の人々に開放して、週末集まってきた人たち同士で自分の関心事をテーマに対話をしていたそうです。その過程で、自分の問題が明確になったり、その対話の中でコモンランドが生まれたり、それぞれの場における問題解決や社会変革に向けてのソリューションやアクションプランが創出されたそうです。このお話は、2014年2月に南山大学人間関係研究センター主催のラボラトリー組織開発のワークショップで来られていた NTL Institute のメンバーである P.Bidol Padva さんが、講演会で語ってくれました。

現在、ワールドカフェや、OST といった手法が生まれてきたのもこうした自発的な活動が源になっているようです。

日本体験学習研究所（JIEL）においても、実験的・冒険的試みとして、地域の人々に対話の場を提供して、みなさまがたが今考えている関心事や問題を話し合いながら、どのようなことがそれらの関心事に潜んでいるのかを共有し、共通理解が生まれる場を創ってみることにしました。

どなたに参加していただいても結構です。ただ、来られる方は、ともに語り合うことを喜びと感じ、他者のために探求する時間とアイデアを惜しまないボランティア精神を発揮し、また話し合っている事柄（コンテンツ）とありよう（プロセス）にともに責任をもっていただけるとありがたいです。

このラーニングカフェ FOR CHANGE では、私どもが何か話題を提供するのではなく、参加される方がそれぞれ自分の関心を投げかけるところからスタートしたいと考えています。いかに共有し合える体験ができるか、そのことを楽しみにしています。

2016 年度のラーニングカフェ FOR CHANGE の開催予定日

（各回とも 19:00 ～ 21:30）

第 1 回	2016 年	4 月 15 日（金）
第 2 回		5 月 18 日（水）
第 3 回		6 月 17 日（金）
第 4 回		7 月 20 日（水）
第 5 回		8 月 26 日（金）
第 6 回		9 月 28 日（水）
第 7 回		10 月 21 日（金）
第 8 回		11 月 16 日（水）
第 9 回		12 月 16 日（金）
第 10 回	2017 年	1 月 25 日（水）
第 11 回		2 月 17 日（金）
第 12 回		3 月 15 日（水）



会 場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
会 費	1,000 円（1 ドリンク付き、税込）

体験学習実践研究会

体験学習実践研究会とは

学校における教育者は、教科教育のコンテンツを考えるとともに、学習者－教育者関係、学習者関係、教師間のチーム活動におけるグループダイナミクスなどの“関係そのもの”をいかに扱うことができるかが大きな課題です。今日、生徒同士の間関係づくりやキャリア教育などで自己理解のための授業展開も教師に求められています。

また、企業内教育においても、「リーダーシップ」、「ファシリテーション」など組織やチーム力を向上させるための体験学習を用いたセミナーが開かれています。

医療・看護の領域では、看護医療関係者のチーム力、ひいては人間関係力の養成の必要性が喫緊の課題になっています。全国の看護協会の研修テーマには、「リーダーシップ」、「コミュニケーション力」、「グループ・マネジメント」、「ファシリテーター養成」、「ファシリテーション」などをテーマに教育・研修が行われています。

この研究会では、さまざまな領域で人と関わる力の育成に関心をもつ人々に集まっていただき、『体験学習』のための実習教材の体験をしたり、研修教材の開発やプログラムの設計・展開に関する討論を行いたいと考えています。

2016 年度の体験学習実践研究会の開催予定日

（各回とも 13:30 ～ 16:30）

第 1 回	2016 年	5 月 21 日（土）
第 2 回		6 月 18 日（土）
第 3 回		7 月 2 日（土）
第 4 回		9 月 24 日（土）
第 5 回		10 月 22 日（土）
第 6 回		12 月 3 日（土）
第 7 回	2017 年	2 月 4 日（土）

2015 年の体験学習実践研究会のテーマ

- ・学校教育における人間形成プログラム（冒険教育キャンプ・体験学習授業）の民間教育事業者の実践と今後の展開
- ・ふりかえりを考える－ウェビング・テープを使ったチームビルディング『ラクーン・サークル』を用いて－
- ・フューチャーセッション「中小規模病院の看護師がイキイキすると、日本の未来は明るい！」
- ・オリジナル実習「パワーを GET しろ！！」を体験する
- ・AI アプローチのいくつかの実践報告



参加資格	人間関係力の育成や人間関係づくりに関心をおもちの方、特に「体験」を通して学びの場を創ることに関心をおもちの方ならどなたでも参加可です。（不明な場合は、お問い合わせください）
会 場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
会 費	1,000 円（税込）

「JIEL 春まつり」学びの祈願祭：さまざまなファシリテーションに触れる

JIEL も一般社団法人として設立して、一周年を迎えました。一周年を祝うと共に、一年の感謝の気持ちで、2016 年度のスタートに際し、さまざまなファシリテーションに触れていただくプログラムを準備しました。

「JIEL 春まつり」と題して、2016 年の豊かな学びを祈願すると共に、ラボラトリー体験学習の幅広い展開の可能性を味わっていただく企画です。特に、自然と人をつなぐファシリテーションとして清里の自然を素材にインタープリテーションを楽しんでいただきたいと思います。

さまざまな体験の場、ファシリテーションに出会うひとときを楽しみませんか？

清里の自然の春を楽しむ、マインドマップを学ぶ、セルフサイエンスを学ぶ、非構成のグループ体験から学ぶ、グループプロセスを観る体験とたくさんの学びのオンパレードです。みなさんでご参加をお待ちしています。

JIEL 春まつり いろいろなファシリテーションに触れる（案）

1 日目 2016 年 4 月 23 日	2 日目 2016 年 4 月 24 日	3 日目 2016 年 4 月 25 日	4 日目 2016 年 4 月 26 日
	朝散歩（オプション）	朝散歩（オプション）	
7:30	朝 食	朝 食	朝 食
9:00	思考ツールと体験学習 『『天才のノート術』に学ぶ』	グループプロセスと体験学習 『『非構成グループ』を体験する』	リエントリーと体験学習 『『3 日間の学び』をふりかえる』
	『グラフィックとファシリテーション』	『T グループとファシリテーション』	『プログラムづくりとファシリテーション』 閉 会
13:00	昼 食	昼 食	昼 食
14:00	受 付	フィードバックと体験学習	解 散
14:30	開 会 ねらいづくり インタープリテーションと 体験学習 『『清里の春の自然』を楽しむ』	POPO（1） POPO（2）	
	『自己成長と ファシリテーション』	『フィードバックと ファシリテーション』	
18:00	夕 食	夕 食	夕 食
19:00	エクササイズと体験学習 『『実習体験』から学ぶ』 ラボラトリー体験学習の 誕生と価値 『ラボラトリー体験学習と ファシリテーション』	午後のつづき コミュニティ・アワー	『『清里の春の夜』を楽しむ』 『ナイトハイクと ファシリテーション』
21:00	一人になって	一人になって	一人になって
21:30			



日 程	2016 年 4 月 23 日（土）～ 26 日（火）3 泊 4 日 清里 清泉寮 23 日 14:00 受付、14:30 開会 26 日 13:00 解散（清里駅行バス 13:30 出発）
担当者	津村 俊充 他
定 員	18 名
参加費	受講料：45,000 円（税込）
滞在費	43,470 円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 53,190 円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。
※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

「JIEL 秋まつり」学びの収穫祭：講座参加者とともに一年の学びをふりかえる

私ども JIEL は、2016 年度にさまざまな講座を開催させていただきます。それらの講座を通して多くの講座参加者と JIEL 研究員が出会ったり、講座参加者のみなさま相互にもたくさんの出会いがあると思います。

2016 年開催の私どもの講座に参加してくださったことに感謝すると共に、JIEL 公開講座に参加してくださった方々にお集まりいただき、学びの再確認やその後の学びの展開などについて語り合いたいと考えています。

食事を共にしながら、JIEL 公開講座に参加してどのような学びがあったのか、その学びが日常生活の中でどのように活かされているのか、語り合い聴き合い分かち合う時をもちたいと考えています。参加者同士、久しぶりの再会を楽しむのもよし、講座に参加した方々が、あらためて今の自分をふりかえりことから、お互いに刺激をもらい、元気になっていただけの企画にしたいと考えています。

学びの分かち合いのセッションや食事を共にしながら、楽しい一時を過ごしてみませんか？

みなさまのご要望やご意見があれば、ぜひお聞かせください!!



開催日時	2016 年 11 月 13 日（日）15:00 ～ 20:00
会 場	ヒューマンコラボレーションセンター H C C 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	2,000 円（夕食代、飲み物代を含む、税込）

研修を依頼する

日本体験学習研究所（JIEL）では、学校教育現場、企業など組織内研修、看護医療現場での医療従事者の研修など幅広いジャンルの現場から研修依頼をいただき、各機関のご要望にお応えしています。研修のテーマは、人間関係にかかわるテーマはどのようなテーマでも扱っています。主なテーマとして、コミュニケーション、グループワーク、チームづくり、組織開発など、さまざまな機関のニーズにあった研修プログラムのコンサルテーションから具体的にプログラムをデザインし実施する受託研修まで、さまざまな形で研修依頼お引き受けしています。

研修についての質問、ご依頼は、まずはお気軽にお問い合わせください。



2015 年度研修実績

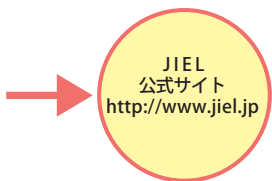
愛知県立大学認定看護師教育課程	リーダーシップ「アサーティブコミュニケーション」 リーダーシップ「ファシリテーション」
名古屋市昭和生涯学習センター	女性セミナー「あなたも、ワタシも大切に ～アサーションでコミュニケーション力 UP～」
独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	リーダーシップ
一般社団法人産業カウンセラー協会 東関東支部	産業カウンセラー養成講座「コミュニケーションの理論と活用」
名古屋市立沢上中学校 現職教員研修	「ともに学ぶ ～体験を通して学ぶ“よりよい人間関係づくり”」
小牧市教育委員会 教員研修	「体験学習を現場に生かす」
あいち教育研究会 特別活動部会	「よりよい人間関係を築こうとする児童生徒の育成」
日本福祉大学社会福祉総合研修センター	名古屋市小規模介護事業所・復職者支援研修事業 「利用者・同僚とのコミュニケーション」
名古屋記念病院	人材育成Ⅰ（リーダーシップ）
学校法人篠原学園 篠原保育医療情報専門学校	保育ファシリテーター養成講座「ファシリテーションスキル」
マラソンフェスティバル ナゴヤ・ 愛知 ボランティアセンター	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2016 「エリア・リーダー研修」
マラソンフェスティバル ナゴヤ・ 愛知 ボランティアセンター	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2016 「ボランティア・リーダー研修」
名古屋市西生涯学習センター	なごや学マイスター養成講座「魅力を伝えるために ～準備と現地で生きるコミュニケーションスキル～」
名古屋記念病院	人材育成Ⅱ（ファシリテーション）
静岡県看護協会	ファシリテーター研修
全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	園長・リーダー研修会「人間関係をつくる」

受講申込

[1] 受講申込

申込方法

基本的には WEB ページから申込みをお願いします。
※ WEB ページが難しい場合には、FAX（052-804-1889）にてお申込みください。



申込後の講座参加者の変更

公平を期すために、個人名での申込のみとさせていただきます。
団体名での申込及び申込後の参加者の変更は受け付けません。

[2] 受講料の振込

- ①原則 e-mail にて振込依頼を送付いたします。記載されている受講料を指定の銀行口座へお振込ください。
- ②期日内にご入金が確認できない場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

[3] 受講案内

受講料の入金確認後、原則 e-mail にて受講案内等をお送りします。振込後、1 週間以内に届かない場合はご連絡をください。

[4] 開講日

- ①各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場は異なります。お間違いのないよう充分にご確認ください。
- ②テキストの必要な講座は、初日に受付にて販売いたします。

[5] キャンセル連絡とキャンセル料について

当研究所受付日が 受講料入金後 の場合	受講料の 20%（各講座上限 1 万円）＋振込手数料
当研究所受付日が 講座開始 10 日前～3 日前 の場合	受講料の 50%＋振込手数料
当研究所受付日が 講座開始 2 日前～当日 の場合	受講料の全額（返金不可）

注 1：受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡をください。当研究所事務受付時間外に E-mail、またはファックスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。

注 2：宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきご返金対応をいたします。

[6] 講座の中止について

申込者が規定の人数に満たない場合や、担当講師の緊急の都合により、開講を中止することがあります。
当研究所の理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。



2016 年 4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		2017 年 1 月		2 月		3 月	
1 金		1 日		1 水		1 金		1 月		1 木		1 土	秋期： 実践ファシリ 2 & 3 章	1 火		1 木		1 日		1 水		1 水	
2 土		2 月		2 木		2 土	第 3 回 体験学習実践研究会	2 火		2 金		2 日		2 水		2 金		2 月		2 木		2 木	
3 日		3 火		3 金		3 日		3 水		3 土		3 月		3 木		3 土	第 6 回 体験学習実践研究会	3 火		3 金		3 金	
4 月		4 水		4 土	第 3 回 T グループ① 清里	4 月		4 木		4 日		4 火		4 金		4 日		4 水		4 土	第 7 回 体験学習実践研究会	4 土	
5 火		5 木		5 日	第 3 回 T グループ② 清里	5 火		5 金		5 月		5 水		5 土		5 月		5 木		5 日		5 日	
6 水		6 金		6 月	第 3 回 T グループ③ 清里	6 水		6 土		6 火		6 木		6 日		6 火		6 金		6 月		6 月	
7 木		7 土	第 2 回 グループと私①	7 火	第 3 回 T グループ④ 清里	7 木		7 日		7 水		7 金		7 月		7 水		7 土	第 2 回実習づくりファシリテータートレーニング①	7 火		7 火	
8 金		8 日	第 2 回 グループと私②	8 水	第 3 回 T グループ⑤ 清里	8 金		8 月		8 木		8 土	第 2 回実習実施ファシリテータートレーニング①	8 火		8 木		8 日	第 2 回実習づくりファシリテータートレーニング②	8 水		8 水	
9 土		9 月		9 木	第 3 回 T グループ⑥ 清里	9 土	春期： 実践ファシリ 10 & 11 章	9 火		9 金		9 日	第 2 回実習実施ファシリテータートレーニング②	9 水		9 金		9 月	第 2 回実習づくりファシリテータートレーニング③	9 木		9 木	
10 日		10 火		10 金		10 日		10 水		10 土		10 月	第 2 回実習実施ファシリテータートレーニング③	10 木		10 土	秋期： 実践ファシリ 1 & 12	10 火		10 金		10 金	
11 月		11 水		11 土	春期： 実践ファシリ 6 & 7 章	11 月		11 木		11 日	第 3 回 T グループ フォローアップ	11 火		11 金		11 日		11 水		11 土	第 2 回グループプロセスファシリテータートレーニング①	11 土	
12 火		12 木		12 日		12 火		12 金		12 月		12 水		12 土	秋期： 実践ファシリ 8 & 9 章	12 月		12 木		12 日	第 2 回グループプロセスファシリテータートレーニング②	12 日	第 4 回 T グループ フォローアップ
13 水		13 金		13 月		13 水		13 土		13 火		13 木		13 日	JIEL 秋まつり	13 火		13 金		13 月		13 月	
14 木		14 土	春期： 実践ファシリ 2 & 3 章	14 火		14 木		14 日		14 水		14 金		14 月		14 水		14 土		14 火		14 火	
15 金	19:00 ～ ①ラーニングカフェ	15 日		15 水		15 金	第 2 回プログラムデザイナー・トレーニング①つま恋	15 月		15 木		15 土	秋期： 実践ファシリ 4 & 5 章	15 火		15 木		15 日		15 水		15 水	19:00 ～ ②ラーニングカフェ
16 土		16 月		16 木		16 土	第 2 回アサーショントレーニング①	16 火		16 金		16 日		16 水	19:00 ～ ⑧ラーニングカフェ	16 金	19:00 ～ ⑨ラーニングカフェ	16 月		16 木		16 木	
17 日		17 火		17 金	19:00 ～③ラーニング カフェ	17 日	第 2 回アサーショントレーニング②	17 水		17 土	第 2 回 T グループ ファシリテータートレーニング①	17 月		17 木		17 土	第 2 回 チームビルディング①	17 火		17 金	19:00 ～ ⑩ラーニングカフェ	17 金	第 2 回グループプロセスコンサルタント トレーニング①
18 月		18 水	19:00 ～ ②ラーニングカフェ	18 土	第 2 回体験学習実践研究会	18 月	第 2 回アサーショントレーニング③	18 木		18 日	第 2 回 T グループ ファシリテータートレーニング②	18 火		18 金		18 日	第 2 回 チームビルディング②	18 水		18 土	第 2 回グループプロセスファシリテータートレーニング③	18 土	第 2 回グループプロセスコンサルタント トレーニング②
19 火		19 木		19 日		19 火	第 2 回プログラムデザイナー・トレーニング⑤つま恋	19 金		19 月	第 2 回 T グループ ファシリテータートレーニング③	19 水		19 土	第 4 回 T グループ① 富士	19 月		19 木		19 日	第 2 回グループプロセスファシリテータートレーニング④	19 日	第 2 回グループプロセスコンサルタント トレーニング③
20 水		20 金		20 月		20 水	19:00 ～ ④ラーニングカフェ	20 土		20 火	第 2 回 T グループ ファシリテータートレーニング④	20 木		20 日	第 4 回 T グループ② 富士	20 火		20 金		20 月		20 月	第 2 回グループプロセスコンサルタント トレーニング④
21 木		21 土	第 1 回 体験学習実践研究会	21 火		21 木		21 日		21 水	第 2 回 T グループ ファシリテータートレーニング⑤	21 金	19:00 ～ ⑦ラーニングカフェ	21 月	第 4 回 T グループ③ 富士	21 水		21 土		21 火		21 火	
22 金		22 日		22 水		22 金		22 月		22 木		22 土	第 5 回 体験学習実践研究会	22 火	第 4 回 T グループ④ 富士	22 木		22 日		22 水		22 水	
23 土	JIEL 春まつり①	23 月		23 木		23 土	春期： 実践ファシリ 1 & 12 章	23 火		23 金		23 日		23 水	第 5 回 T グループ⑤ 富士	23 金		23 月		23 木		23 木	
24 日	JIEL 春まつり②	24 火		24 金		24 日		24 水		24 土	第 4 回 体験学習実践研究会	24 月		24 木	第 6 回 T グループ⑥ 富士	24 土		24 火		24 金		24 金	
25 月	JIEL 春まつり③	25 水		25 土	春期： 実践ファシリ 8 & 9 章	25 月		25 木		25 日		25 火		25 金		25 日		25 水	19:00 ～ ⑩ラーニングカフェ	25 土		25 土	
26 火	JIEL 春まつり④	26 木		26 日		26 火		26 金	19:00 ～ ⑤ラーニングカフェ	26 月		26 水		26 土	秋期： 実践ファシリ 10 & 11 章	26 月		26 木		26 日		26 日	
27 水		27 金		27 月		27 水		27 土	第 2 回プロセスにこだわる①	27 火		27 木		27 日		27 火		27 金		27 月		27 月	
28 木		28 土	春期： 実践ファシリ 4 & 5 章	28 火		28 木		28 日	第 2 回プロセスにこだわる②	28 水	19:00 ～ ⑥ラーニングカフェ	28 金		28 月		28 水		28 土		28 火		28 火	
29 金		29 日		29 水		29 金		29 月		29 木		29 土		29 火		29 木		29 日				29 水	
30 土		30 月		30 木		30 土	第 3 回グループと私①	30 火		30 金		30 日	秋期： 実践ファシリ 6 & 7 章	30 水		30 金		30 月				30 木	
		31 火				31 日	第 3 回グループと私②	31 水				31 月				31 土		31 火				31 金	

● 日本体験学習研究所(JIEL)とは

日本体験学習研究所(JIEL)では、1947年K.レヴィンたちにより人間関係の理解と改善のために開発された「ラボラトリー方式の体験学習」の基礎的な研究とさまざまなフィールド(学校教育、企業組織、看護医療、国際協力など)における応用実践研究を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習とは、「人と人が特別に設計された関わる場において、“今ここ”での参加者の体験を素材(データ)として、人間や人間関係を参加者とファシリテーターとがともに実験的に探求する学習」です(津村、2009)。

K.レヴィンの思想を継承し、現代の社会のニーズに応えること、特に人間関係に関わる諸問題の解決のために適切な働きかけのデザインと実践ができるファシリテーターとして私たちが活動し、研究やプログラムを提供するとともに、さまざまなフィールドで活動する人々がそうしたファシリテーターになれるための支援をしています。

これらの活動を通して、ラボラトリー方式の体験学習の普及と共に生きる社会の創造をめざしています。

※JIELとは、Japan Institute for Experiential Learning の略称です

● 沿革

2006年 愛知県防災局の研修を受託するために任意団体として日本体験学習研究所を設立。

2012年 「プロセス・エデュケーションー学びを支援するファシリテーションの理論と実際」津村俊充著(金子書房)を出版。

2013年 「実践人間関係づくりファシリテーション」日本体験学習研究所監修(金子書房)を出版。

2015年 一般社団法人「日本体験学習研究所(Japan Institute for Experiential Learning: JIEL)」を設立。

● NTLとは

1946年夏の米国コネティカット州で開かれたワークショップ後、1947年にメイン州ベセルにて全米教育協会(National Education Association)や大学のいくつかの研究機関の協力のもとで「集団発達に関するナショナル・トレーニング・ラボラトリー(National Training Laboratories in Group Development: NTLGD)」を開催したのがNTLのはじまりです。1963年まで全米教育協会の成人教育部門の教育機能を果てましたが、1967年にNTL Institute for Applied Behavioral Scienceと名称を変更し非営利組織として運営されてきています。

また、ラボラトリー方式の体験学習のコアプログラムとして、65年にわたりTグループを実施してきています。そのほかに、リーダーシップ開発やジェンダーやダイバーシティにかかわるワークショップ、組織開発に関わる多数のプログラムを開催しているラボラトリー教育の歴史ある機関です。

JIELの代表理事・所長である津村は、日本人としては初めてNTLのインターナショナルメンバーとして認定されて、日本でラボラトリー方式の体験学習の普及に努めています。



一般社団法人
日本体験学習研究所

代表理事・所長：津村 俊充

〒468-0015 名古屋市天白区原1丁目2304
ライオンズマンション原102 HCC内
(地下鉄鶴舞線「原」駅1番出口)

電話&FAX (052) 804-1889

e-mail desk@jiel.jp

Website http://www.jiel.jp

◆地下鉄で来られる場合◆

地下鉄「原」駅の1番出口が最寄りとなります。第三銀行のあるスクランブル交差点を右折し道なりに進み、原郵便局の先を左折したところにある、レンガ色のライオンズマンションの1Fです。

2番出口から出られた場合は、サークルK沿いに進み、すぐに左折をし直進すると原郵便局のある三叉路に出ます。

